

2026年度
特定技能外国人建築大工育成計画
IN インドネシア

2026年6月27日

一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会

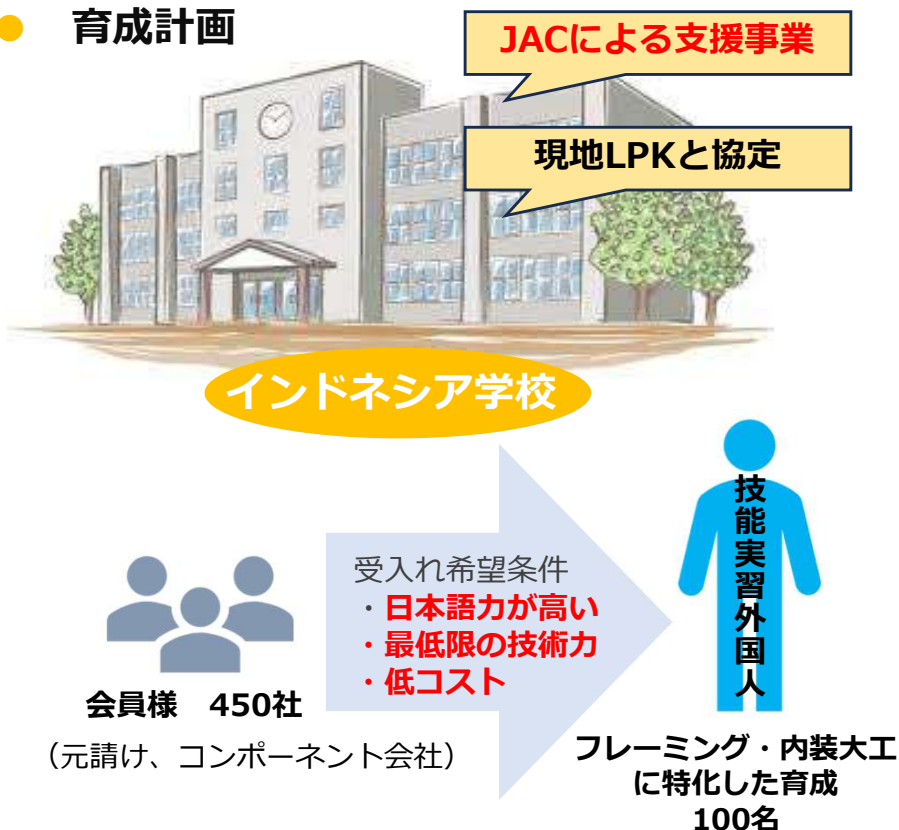
● 目的

2x4建築協会の会員様に対し、**インドネシアで学校を設立**し、教育をした**特定技能1号外国人**を送り出す。
育成人数目標：100名（2026年度は30名からスタート）

● 背景

建設業の人材不足が問題視される昨今、国土交通省の調査より今後、若年層の人材不足はさらに加速することが予想される。今の日本において外国人の労働力は必要不可欠である。

● 育成計画



日本語能力の教育

現地LPKで日本語能力を**N3レベルまで**引き上げる。

日常生活に必要な日本語能力及び、現場で使用する建築用語も同時に教育する。日常生活に必要な知識も教育する。



フレミング・内装大工に特化した訓練

実習棟の製作や技能検定実技試験問題を製作することで、2x4工法の基礎知識を身に着ける。



小屋作成

送り出されたら即戦力



繰り返し教育



技能試験練習

特定技能2号を見据えた教育

● 現地LPK

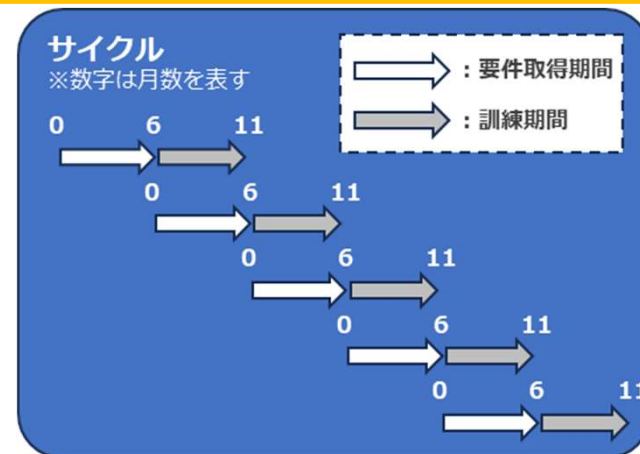
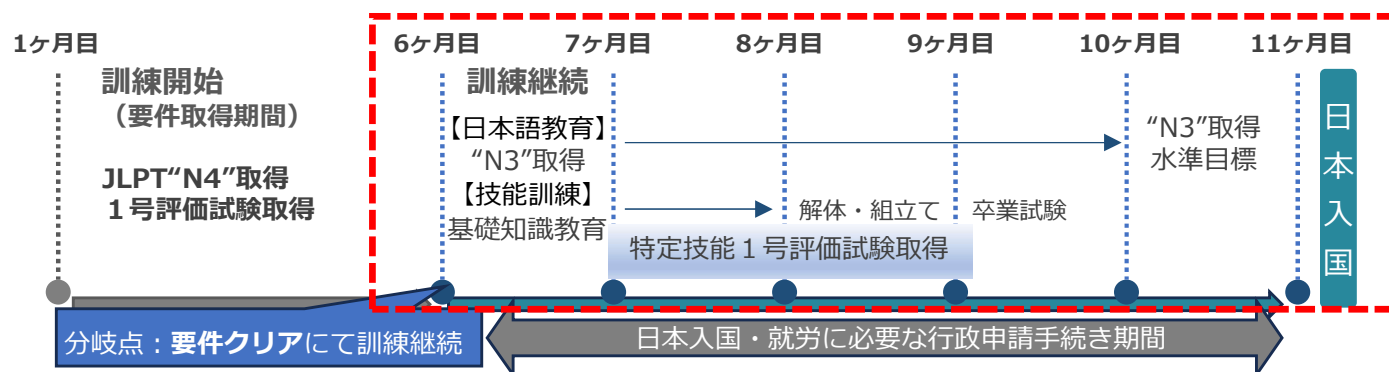
■ 主催



PT. SATRIA JAYA INTERNASIONAL
COAL MINING | COAL AND OIL TRADING | EQUIPMENT RENTAL

● 受入れスケジュール・サイクル

例) スケジュール ⇒ 入国までの申請期間（約11カ月間）のカリキュラム



日本語教育 ⇒ 現地LPKによる教育

生活

- ・日本で生活するうえで必要な基礎知識を学ぶ

建築用語

- ・現場で使用する工具名称
- ・安全教育

日本語能力試験N3

- ・N3試験の取得

特定技能1号評価試験

- ・2号評価試験を見据えて1号評価試験の取得



技能訓練

教育

- ・小屋作成
- ・枠組壁建築技能士講習
- ・建築技能検定3級講習
- ・特別教育（JAC支援）
（丸のご取り扱い、木造建築物解体工事の指揮者等安全教育フルハーネス、足場の組立て）

解体

- 作成した小屋を解体
- ・安全について教育

組立て

- 本人だけでの制作
- ・小屋
- ・枠組壁建築技能士課題



卒業試験

- 枠組壁建築技能士の課題を卒業試験とする



繰り返し教育

繰り返し教育

- **主催** 一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会
釜谷専務理事
吉田（事業部長、事務局）

- **実施日・実施場所**
実施日 : ①会員企業による採用面接 2026年11月に実施予定
 ②特別訓練 2026年12月1日～2028年6月1日 （6か月）
実施場所 : PT.WAHANA DAHAU INDAH

- **体制**
現地LPK :  **PT. SATRIA JAYA INTERNASIONAL** 代表 **SHOGO SAKURAMOTO**
 COAL MINING | COAL AND OIL TRADING | EQUIPMENT RENTAL
企画協力 : 大東建託株式会社（会員会社）
 施工管理部
 宗像部長
 福田部長 青木チーフ 寺尾氏
講師 : 技能訓練（日本人大工） 3名（未定）
 技能訓練（インドネシア）6名（未定）
 PT.WAHANA DAHAU INDAH専属
 日本語講師 3名
 大工テキスト講師 2名
 マナー講師 2名

- **教材・資材**
 ①特定技能1号向け 大工テキスト（2x4協会/インドネシア版）
 ②技能検定（枠組壁建築技能士）テキスト（2x4協会/インドネシア版）
 ③特別教育 ワークショップ（JAC）およびマインクラフトとコラボしたコンテンツ教材
 ④マナー講習テキスト（ PT.WAHANA DAHAU INDAH）
 ⑤日本語講習テキスト（ PT.WAHANA DAHAU INDAH）
 ⑥合板、2x4材、金物等 実技訓練資材（数量は見積に記載）

●スケジュール ⇒ 入国までの申請期間（6カ月間）のカリキュラム



※訓練はN3および建築大工技能取得の2カテゴリーで実施。

入国後の2号評価試験受験合格または技能検定受検合格を目指す。

※特別教育は丸のこ取り扱い、フルハーネス、足場の組立て、造建築物解体工事の指揮者等安全教育の4項目取得を目指す。